

連携提案：生理機能・認知機能の評価方法を現場で活用します

キーワード：児童の自律，ジュニアアスリート

芸術・体育・教科横断・総合教育学系

松浦 亮太 (Ryouta MATSUURA)

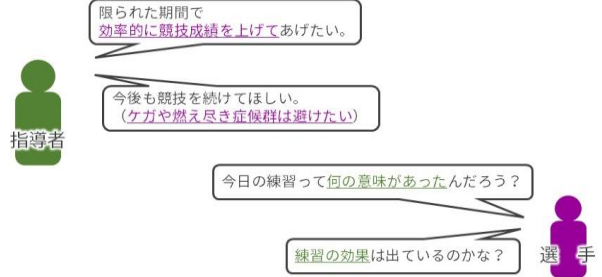
連携提案内容と効果

教育現場における児童の自律性を評価するお手伝い



- 短時間で測定できる認知テストや尺度をご紹介します，これらの疑問の解決につながるデータをご提供します。
- 定量的データを蓄積していき，データから今後の教育内容の構築をサポートします。

地域でのジュニアトップアスリート育成のお手伝い



- 定期的に選手の生理機能进行评估し，トレーニング効果をご説明した上で今後の方針をご提案します。

アピールポイント

教育現場やスポーツ現場で長年培われてきた教員や指導者の知識・勘を，定量的なデータで裏付けすると同時に，新しい授業内容やトレーニング方法をご提案します。

連携したい分野

小学校・中学校・高校・地域のスポーツクラブ

研究テーマ：筋疲労，二重課題，呼吸調節



プロフィール		専門分野	運動生理学
	1980年北海道生まれ。2005年北海道大学教育学研究科修士課程修了。2008年同大学院教育学研究科博士課程修了。九州共立大学助手，国立障害者リハビリテーションセンター研究所流動研究院を経て現職。博士（教育学）	主な研究内容	「身体運動による代謝ストレスの変化が求心性信号として運動指令に及ぼす影響」 「筋疲労による神経生理学的変化が筋収縮時の力発揮や努力感に及ぼす影響」 「最大下一定強度での筋収縮によって生じる疲労困憊直後の最大筋力の規定要因」
関連URL	https://sites.google.com/site/rmatweb/		

関連する業績等

Matsuura R., Arimitsu T, Kimura T, Yunoki T, Yano T. Effect of oral administration of sodium bicarbonate on surface EMG activity during repeated cycling sprints. *Eur J Appl Physiol* 101: 409-417, 2007.

Matsuura R., Arimitsu T, Yunoki T, Yano T. Effects of resistive load on performance and surface EMG activity during repeated cycling sprints on a non-isokinetic cycle ergometer. *Br J Sports Med* 45: 820-824, 2011.

Matsuura R. Fatiguing unilateral handgrip influences force during force-matching task with lower limb. *Physiol Behav* 275: 114455, 2024.

お問い合わせは、松浦 研究室 matsuura@juen.ac.jp